

事業所名: グループホーム あすか

作成日: 平成 31 年 2 月 1 日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】 注)「項目番号」の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。					
優先順位	項目番号	次のステップに向けて取り組みたい内容	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	26	より良いケアプラン作成を目標に、ご本人、ご家族、全職員からの意見を汲み上げる。利用者様の「できること」「できそうなこと」「生活歴」等をアセスメントし、個々人の個性、特技を反映した役割を与え、生き生きとした生活を送ることができるよう支援する。	・利用者様の「できること」「特技」「生活歴」を更に深く探ることで、それらを反映した役割を与え、張りのある生活を送っていただけるよう支援する。	・ご家族へのアンケートを引き続き行い、得られた要望、情報をケアに取り込んでいく。 ・利用者様各一冊ずつ「情報収集ノート」を作成しているが、上手く活用できていない。普段の何気ない会話から利用者様のニーズを拾い上げ、日々の介護に役立てる。	6 ヶ月
2	35	消火・避難訓練後の反省会の記録を取り、昼夜問わず利用者がより安全に避難出来る体制を築く。運営推進会議に於いて消防団等地域の防災担当の方々をお招きし、合同防災訓練を検討する。	・防災訓練を引き続き行うとともに、訓練後の反省会と反省会で出た意見を記録していく。 ・いざというときに地域の方との連携が取れるよう地域の消防団などと合同訓練を行なう。	・消防、避難訓練後の反省会記録シートの作成と記入。 ・運営推進会議に地域の消防団をお招きし、地域の方々に消防、避難訓練に参加していただけるよう検討する。	6 ヶ月
3	33	緊急時の対応マニュアルを個別に作成し、家族に説明する。重度化や終末期の方針を検討し、重要事項などに明示する。	・重度化や終末期に対する施設の方針を決定し、重要事項説明書に明示する。 ・利用者様の身体状態から今後起こり得る緊急の事態を予想し、それに対応出来るよう個別にマニュアルを作成する。	・重度化や終末期を迎える利用者様に対してどこまで何をするのか(できるのか)について職員で話し合う。 ・利用者様の身体状態をアセスメントし、医療、介護の面で今後どのように重度化するのか、重度化した場合の対応について話し合う。	6 ヶ月
4	2	地域の方々とのふれあいの機会として、地域の小学校の運動会などへの参加や中学生の体験実習の受け入れ、保育園児との交流などを考えて行きたい。また、施設の行事へ地域の方を積極的に招待したい。	・地元小学校の運動会への参加 ・中学生の体験学習の受け入れ ・施設行事への地域の皆様の招待	・地元の小学校、中学校と連絡をとり、学校行事への参加の可、不可の確認を行う。中学生の体験学習についても実施の有無の確認や施設としても受け入れることを伝える。 ・施設行事の際には公民館などに張り出してもらおう。	12 ヶ月
5	13	職員のケアの知識、技術の向上を図る。	・職員個々人の介護技術、介護、福祉の知識を高め、均一、均質なケアを提供する。	・施設での勉強会以外にも、職員1人につき年に1回は外部の研修会、勉強会に参加する。 ・介護技術や法令などについて学べるような内容プリントを作成し、月に一回の定例会の際に配布する。	12 ヶ月